

# 努力は全ての扉を開く

2024年、新しい年がスタートしました。長期化する原油価格・物価高騰、全国的な課題である人口減少・少子高齢化などにどう向き合い、新しい年をどう前進していくのか、瀬上市長が抱負を語りました。

令和6年の年頭にあたり  
謹んで新年のあいさつを申し上げます。

はじめに、この度の能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。当市におきましては、東日本大震災の経験を生かし、現地情報の把握に努め、できる限りの必要な支援を行ってまいります。

さて、新型コロナウイルス感染症がようやくその勢いを弱め、中心市街地の賑

策として掲げた「地域経済を支える地場企業の振興」、「ともに支え合う地域づくりの推進」、「子ども・子育て支援の充実」の3本柱の実現に向け、具体的な取り組みを強力に推進してまいります。

特にも、「この地で子どもを産み育てたい」という若い世代の機運を醸成し、その願いを叶えることが極めて重要だと考えております。「子どもは市民みんなの宝もの」であるとの理念の下、国が提唱する「こどもまん中社会」の実現に向け、「(仮称)大船渡市こども家庭センター」を整備し、子育て世帯の包括的支援体制の強化を図ってまいります。

さらには、「デジタル化の推進」と「シティプロモーションの推進」を、横断的施策として掲げ、行政DX(デジタル・トランスフォーメーション)や大船渡ブランドの構築・シビックプライドの高揚などを目指して、本市のプロモーション(市外に向けた広報活動)を効果的に展開してまいります。

また、「努力は全ての扉を開く」という言葉は、私を突き動かす原動力です。輝かしい新年の幕開けに当たり、市民の皆さんと力を合わせ、末永く幸せに暮らされたいと願っています。

結びに、皆様にとりまして本年が幸多き年となりますことを心から祈念し、新年のあいさつと致します。



抱負

もう少しドリブルが上手くなるように頑張りたいです。そして、打てる時は積極的にシュートを打ちたいです。

## 2024年 私の抱負

よしだ あみさん  
吉田 亜未さん

盛小学校3年の吉田さんは、市内のスポーツ少年団「FC サンアルタス大船渡」に所属しています。プロのサッカー選手だった親戚とのボール遊びがきっかけでサッカーに興味を持ち、4歳の頃から仲良しの友達と一緒に同チームのサッカースクールに通いはじめました。「試合前はいつも緊張しますが、試合中フィールドを走っていると夢中になっています」と笑顔で話していました。

大船渡市漁業協同組合組合員

おざき まこと くじ ようすけ  
尾崎 眞さん・久慈 陽介さん



抱負

\*尾崎さん(左)…久慈さんを一人前に育てたいです。それから、高水温の影響でホタテがへい死しているの、ワカメやコンブなどの生育が良いことを祈っています。  
\*久慈さん(右)…独立に向けて、親方に言われる前に次の行動ができるようになりたいです。船酔いにも負けません。

久慈さんは、北上市の出身。「海が近い場所で暮らしたい。」と住んでいた紫波町から、会社員を辞めて夫婦で大船渡に移住しました。漁業を生業にしたいと考え、いわて水産アカデミーに入講後、講師の尾崎さんと出会って弟子入りし、ワカメ養殖の勉強中です。将来的には、独立を目指しています。「親方(尾崎さん)をはじめ、末崎の同じ浜の先輩や漁協の人が、温かく受け入れてくれたことに感謝しています」と話していました。



抱負

泰雅が成長するにつれ、できることが増えてきたので、もっとたくさんものを見せ、体験させたいです。

まさと たいが  
山下 聖人さん・泰雅くん

山下さんは三陸町綾里在住で、2歳児の泰雅君を子育て中です。休日は海岸や公園などで外遊びを楽しみますが、雨の日は遊び場が少ないのでショッピングをするそうです。「子育ては大変なこともあります、楽しみの方がいっぱい。息子と一緒に過ごす時間を大切にしています。また、育児中でも、夫婦ともに自由な時間を持つことが必要だと思っているので、家事も育児も妻と協力して行っています」と話していました。